学校番号	201

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・周囲と自分の関りや新たな気付きが表現につながることを留意しながら学習を進めます。
・美術Ⅰで学んだ基礎力をもとにさらに創造的な表現力を目指す学習を行います。
・形態や色彩の捉え方や表現方法、材料や素材の適切な扱い方、使用方法を学びながら自己の表現力の向上を目指す学習活動を行います。
・作品完成後は振り返りレポートや相互評価を行い、作品に対する客観的な視点や相互理解を深める学習活動を行います。

2　学習の到達目標

・造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
・美術Ⅰで学んだ基礎力をもとに新たな気付きや視点をもって表現することができる
・造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、新たな視点や気付きをもって創造的に発想・構想し、価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるとともに、他者の作品を認め相互理解を図ることで、自作品の客観的視点を養うことができる。
・主体的に美術の創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	形や色彩、材料や光などの造形的特徴をとらえて主題に沿った表現が行えているか、また、材料や用具の特性を生かして表現方法を工夫しているかを評価します。	造形的な見方、考え方を働かせて感じたことや考えたことを創造的に表現できているか、また他者の作品の良さを理解し、自身の作品への客観的視点が養えているかを評価します。	主体的に学習活動に取り組み、新たな気付きや視点を表現に組み入れながら活動に取り組めているかを評価します

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	石膏デッサン	【絵画･彫刻】【鑑賞】 1. 主題の設定 ･石膏像を様々な方向から観察し、描きたい構図や作品の主題を整理する。 2. 構想を練る ･主題から発想を広げ、構図や配色など造形的な視点を大切にしながらアイデアスケッチで構想を練る。 3. 制作 ･発想や構想に応じて材料や用具の特性を生かして表現方法を創意工夫し創造的に表す。 ･制作途中に相互鑑賞を行い、意見交換を参考に自分の表現や主題を明確にしてゆく。 4. 鑑賞 振り返りシートの記述をもとに生徒同士が完成作品について発表しあい、作者の考え方や表現の工夫などについて意見交換で共有する。	a :(知識) 形や色彩、材料や光などの性質やそれらの造形的特徴を捉えたり、全体の作品のイメージを捉えることができているか。 (技能) 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに表現方法を工夫して主題を追求できているか。 b:(発想や構想) 造形的な見方、考え方を働かせて感じ取ったことや考えたことを創造的に表現できているか。 (鑑賞) 他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。 c:モチーフを見つめてアイデアスケッチや下書きを何度も行い、創造的な表現に結びつけられたか、鑑賞活動での意見交換や振り返りシートで、主体性をもって取り組むことができたか。	アイデアスケッチ 提出作品 振返りシート	取り組み状況 提出作品 振返りシート	アイデアスケッチ 振返りシート
2学期	わたしの抽象画	【絵画･彫刻】【鑑賞】 1. 主題の設定 ･ワークシートで抽象化の練習を行い、抽象画作品の構図や作品の主題を整理する。 2. 構想を練る ･主題から発想を広げ、構図や配色など造形的な視点を大切にしながらアイデアスケッチで構想を練る。 3. 制作 ･発想や構想に応じて材料や用具の特性を生かして表現方法を創意工夫しし創造的に表す。 ･制作途中に相互鑑賞を行い、意見交換を参考に自分の表現や主題を明確にしてゆく。 4. 鑑賞 振り返りシートの記述をもとに生徒同士が完成作品について発表しあい、作者の考え方や表現の工夫などについて意見交換で共有する。	a :(知識) 抽象画としての形や色彩、歴史や抽象化のプロセスや特徴を捉えたり、全体の作品のイメージを捉えることができているか。 (技能) 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに表現方法を工夫して主題を追求できているか。 b:(発想や構想) 造形的な見方、考え方を働かせて感じ取ったことや考えたことを創造的に表現できているか。 (鑑賞) 他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。 c:モチーフを見つめてアイデアスケッチや下書きを何度も行い、創造的な表現に結びつけられたか、鑑賞活動での意見交換や振り返りシートで、主体性をもって取り組むことができたか。	ワークシート アイデアスケッチ 振り返りシート 提出作品 振返りシート	ワークシート 取り組み状況 振り返りシート 提出作品 振返りシート	ワークシート アイデアスケッチ 振り返りシート 振返りシート

3学期	立体デザイン私のスペース	【デザイン】【鑑賞】 1. 主題の設定 ・作りたい空間のイメージや主題をアイデアスケッチをもとに考える。 2. 試作と構想を練る ・材料の切り方練習を行うとともに、1/10 の人形を作って作品のスケール感を理解することで作品の構想を練る。 4. 制作 ・これまでの発想や構想、試作を通じて学んだ材料や用具の特性を生かして、表現方法を工夫して創造的に表す。 5. 鑑賞 振り返りシートの記述をもとに生徒同士が完成作品について発表しあい、作者の心情や表現の工夫などについて意見交換で共有する。	a :(知識) 形や材料の性質、それらの造形的特徴を捉えたり、試作を通じて全体の作品のイメージを捉えることができているか。 (技能) 作品の意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに表現方法を工夫して主題を追求できているか。 b:(発想や構想) 造形的な見方、考え方を働かせて感じ取ったことや考えたことを創造的に表現できているか。 (鑑賞) 他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。 c:試作を通じてアイデアスケッチや下書きを何度も行い、創造的な表現に結びつけられたか、鑑賞活動での意見交換や振り返りシートで、主体性をもって取り組むことができたか。	アイデアスケッチ アイデアスケッチ 提出作品 振返りシート	取り組み状況 提出作品 振返りシート	アイデアスケッチ アイデアスケッチ 取り組み状況 振返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度